学校番号	１０６

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	詳説「日本史Ｂ」　（山川出版社）						
副教材等	最新日本史図表　二訂版　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史的な視点を身につけ、資料を読み解く感性を磨く。
・歴史上の出来事の因果関係を探る。
・日本と世界との歴史的交流を学び、現在の日本の国際的立場を考える。

2　学習の到達目標

・わが国の歴史的展開を諸資料に基づき、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら考察させ、歴的思考力を培う。
・わが国の伝統と文化への認識を深め、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
・現代の諸課題を近現代史と関連づけながら考察する事が出来る。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史の学習を通して、日本の歴史に対する関心と問題意識を高め、現代の諸課題に対して意欲的に取組み、国際社会の中で日本国民としての責任を自覚し行動する。	現代社会の諸問題を歴史的観点から考察し、客観的・公正に判断して、その結果を自分の主体的意見として適切に表現できる。	日本の近現代史の諸資料を目的に応じて収集・取捨選択・読解・加工できる。	日本の近現代史についての基本的な事柄や、時代の大まかな流れ、世界史や地理的条件との関連を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	レポート ワークシート 観察 研究発表(近現代史に登場する歴史的人物や事件等に関する発表) テーマに対する関心度、調査努力等を評価。	定期考査 確認テスト レポート ワークシート 観察 研究発表（同左） 史料等の分析力や発表方法の独自性・説得力を評価。	定期考査 確認テスト レポート ワークシート 観察 研究発表（同左） 史料選択の妥当性、プレゼンテーション能力等を評価。	定期考査 確認テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	近代国家の成立	・日本近代史へのアプローチ ・開国と幕末の動乱 ・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立と日清戦争	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ 	 ○ ○ ○	a:近代国家の始まりと社会・文化の大きな変化に関心を持ち、意欲的に主題に取り組んでいる。 b:列強のアジア進出が進む中、富国強兵・殖産興業を進めた過程やその結果を適切に判断し、表現することが出来る c:幕末から日清戦争までの諸資料を収集・選択し、それを読み取ってわかりやすく図表などにまとめている。 d:幕末から自由民権運動に至る歴史的事柄や、明治政府の近代化政策の結果について、正しい知識を身につけている	ワークシート レポート 定期考査 観察
2学期	近代国家の成立	・立憲国家の成立と日清戦争 ・日露戦争と国際関係 ・近代産業の発展 ・近代文化の発達	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ 	a：日清・日露戦争の勝利の結果としての、日本の経済成長や国際的地位の高まりに関心を持ち、意欲的に追求しようとしている。 b：日本がなぜ２つの戦争に勝利したかを考察し、近代国家となった日本を論理的に説明できる。 C:日本の産業革命や明治の文化の諸資料を収集・選択し、わかりやすく図示することができる。 D:当時の国際情勢を正しく理解し、必要な知識を身につけている	ワークシート レポート 定期考査 研究発表 観察

2学期	二つの世界大戦とアジア	・第一次世界大戦と日本 ・ワシントン体制 ・市民生活の変容と大衆文化	○ ○	○ ○	 ○ 	○ ○ 	a:近代国家の展開と社会・文化の時代的変化に関心を持ち、意欲的に主題に取り組んでいる。 b:当事の対外政策の推移や、大戦を国際的視点で考察し、その過程や結果を適切に判断・表現している。 c:大戦後の国際社会の変化や恐慌に関係する諸資料を収集・選択し、それを読み取り図表などにまとめている。 d:当事の基本的な歴史的事柄や、近代戦の性格と平和の意義について理解し、正しい知識を身につけている。	ワークシート レポート 定期考査 研究発表 観察
三学期	二つの世界大戦とアジア	・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦	 ○	 ○ ○	○ 	○ ○ ○	a:第二次大戦の原因・影響と、平和の意義などに対する関心を高め、それらを意欲的に追求しようとしている。 b:軍国主義化の原因・過程を多面的に考察し、軍部台頭を論理的に説明できている。 c:第二次大戦に関する諸資料を収集・選択し、戦争や平和についての簡単な資料を作成できる。 d:国際社会の中で日本が孤立し、戦争へと突き進んでゆく過程を理解し、その知識を身につけている。	ワークシート レポート 定期考査 観察
	現代の日本	・激動する現代	○	○	○	○	a:戦後の日本の歴史に関心を持ち、未来に向けてどうあるべきかを考えることができる。 b:国際社会の中での日本の役割について、様々な角度から考えることができる。 C:日本の現代史に関する資料を収集・選択し、図表などに表現することができる。 D:日本の現代史を世界史と絡ませながら正しく理解する。	ワークシート レポート 定期考査 観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現

c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。